

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

| | | | |
|----------|---------------|---------------|-----------|
| 仕事の内容 | 標識、看板の台帳管理事業 | | |
| 担当部署・課長名 | 公共施設等マネジメント 課 | 公共施設等マネジメント 係 | 課長名 遠藤 和夫 |

| | | | |
|-------------------------------|-------------|-------|---|
| この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 | 施策番号 | 行 - 2 | - |
| 【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現 | 総合計画書 (ページ) | 122 | |

| | | | | |
|-----|---------|-----------|---------|----------------------|
| 予算名 | 款 2 総務費 | 項 1 総務管理費 | 目 7 企画費 | 事業 10 公共施設等マネジメント事業費 |
|-----|---------|-----------|---------|----------------------|

| | | | |
|--------------|---|---|---|
| 1 この仕事の目的 | ① 誰(何)を対象にしていますか。 標識、看板等を設置、管理している課 | → | ① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 標識、看板等を設置、管理している課の数：課 |
| | ② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 標識、看板等を定期的に確認している。 | → | ② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 1年間で1回以上、標識、看板等の現況確認をしている課の割合：% |
| | ③ そのために何をしましたか。 標識、看板等の適正な管理に関する調査 | → | ③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 標識、看板等の適正な管理に関する調査の実施回数：回 |

| | | 単位 | 平成28年度実績 | 平成29年度実績 | 平成30年度実績 | 平成31年度目標 | 平成32年度目標 |
|------------|------|-----------|---|----------|----------|----------|----------|
| 2 指標の推移 | 対象指標 | ①の数値 | 施設 | 19 | 20 | 19 | |
| | 成果指標 | ②の数値 | % | 100 | 100 | 100 | |
| | 目 標 | ②の目標値 | % | 100 | 100 | 100 | |
| | | 目標値設定の考え方 | 標識、看板等を設置、管理しているすべての所管課において、1年に1回は現況確認を行っている。 | | | | |
| 活動指標 | ③の数値 | 回 | 2 | 1 | 1 | | |

| | | | | | | | |
|---------|--------------|-------------|---------|---------|--------|------|--|
| 3 経費 | 事業費(実績) | | 円 | 0 | 0 | 0 | ※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。) |
| | 財源 | 一般財源 | 円 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 特定財源 | 円 | 0 | 0 | 0 | |
| | | (うち受益者負担) | 円 | 0 | 0 | 0 | |
| | 人件費(目安) | 所要人数(再任用以外) | 人 | 0.1 | 0.05 | 0.01 | |
| | | 所要人数(再任用) | 人 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 職員人件費(再任用以外) | 円 | 826,700 | 425,650 | 82,440 | | |
| | 職員人件費(再任用) | 円 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 事業費+人件費 | 円 | 826,700 | 425,650 | 82,440 | | |

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

| | |
|-----------|--|
| 4 環境変化 | この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成26年度。 標識、看板等について、老朽化に対応するなど、適正な管理を行うため。 |
| | 開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ①設置、管理されている標識や看板等の情報が、管理台帳を整え更新されることによって集約されている。 ②標識や看板等について、不明瞭なものや劣化したものは、所管課が現況確認を行うことにより、適切に管理されている。 ③標識や看板等の破損を発見した職員は、所管課にその旨の連絡をするよう、意識醸成を図っている。 |

| | | | |
|-----------|--------------|-----------------|-----------|
| 仕 事 の 内 容 | 標識、看板の台帳管理事業 | | |
| 担当部署・課長名 | 公共施設等マネジメント | 課 公共施設等マネジメント 係 | 課長名 遠藤 和夫 |

| | | | |
|-------------|--|--|--|
| 5 市民等の意見 | この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について | | |
| | | | |

| | | | |
|-----------|--|------|---|
| 6 市民協働 | (1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可） | | |
| | 取組みは無い | 取組手法 | 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ） |
| | (2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 | | |

| | | | |
|---------|---|--|--|
| 7 課題 | (1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 引き続き、主管課における「標識、看板等の台帳の内容確認」調査依頼は、当該年度内に1回行うこととする。 | | |
| | (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 平成29年度に当該年度分の調査を依頼したことから、平成30年度も同様に調査を依頼した。管理台帳の更新の入力時の負担を小さくするため、例を示した。管理台帳のシートに、廃止台帳シートを作成し、現存する看板の管理台帳と分別した。 | | |
| | (3)(2)を踏まえた今後の課題 主管課の負担が減り、適正な管理がされるよう、調査回数は引き続き1回のみとする。 | | |

| | | | |
|-------------|---|----------|----|
| 8 今後の方向性 | (1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ①標識、看板等の管理台帳については、調査を踏まえて台帳を更新した後、庁内で情報共有する。 ②現年度において、確実に1回以上の確認を徹底するため、現況確認依頼の時期は、年度末の1月から3月に実施することに努める。 | | |
| | (2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ①標識、看板等の管理台帳については、調査に基づき更新後、グループウェアの共有情報に掲載する。 ②平成31年度の現況確認に関する、標識、看板等の確認依頼を、平成32年1月に通知することを予定したい。 | | |
| | (3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。 | | |
| | 成果 | 成果を維持する。 | 経費 |